

2025 年度「民学産公」協働研究事業
成果報告書

音楽アウトリーチを活用した
地域コミュニティ形成に関する実践研究

加藤 亜希子
(まちづくり研究員粋)

目次

1	「民学産公」協働研究事業（協働研究事業）の目的・概要	p. 3
2	申請者プロフィール	p. 3
3	協働研究事業の協力者プロフィール	p. 4
4	協働研究事業の実施期間	p. 4
5	協働研究事業の背景	p. 5
6	協働研究事業の詳細	p. 5
6. 1	研究の仮説と調査方法	p. 5
6. 2	研究の特徴（社会貢献性や先見性等）	p. 5
6. 3	実施した事業の事例検討	p. 6
6. 3. 1	第1回イベント（0歳からのクリスマスコンサート&交流会）の事例	
6. 3. 2	第2回イベント（二胡とピアノの調べ&交流会）の事例	
7	事業の結果からの考察	p. 18
8	三鷹市への提案	p. 20
9	今後の課題と計画	p. 21
10	付録	p. 22

1 「民学産公」協働研究事業（協働研究事業）の目的・概要

近年、地域のつながりはますます希薄化しており、引きこもり、子（孤）育て、独居シニア、ケアラーの孤立など様々な問題が顕著化しているため、その解決が急がれる現状が続いている。筆者の2023年度まちづくり研究にて、公民館におけるプロの演奏家による音楽アウトリーチ（日頃、芸術や文化に触れる機会の少ない市民や地域に対して働きかけ、芸術を提供していく活動）が、三鷹市の掲げる「コミュニティに対する無関心層の増加」、「コミュニティ間・世代間の分断、連携不足」といった地域課題の解決に寄与する可能性を示したが、本事業では、音楽アウトリーチに適しているとされる3つの“小”（小さな空間、短い時間、少人数）にて、地域住民を対象とした音楽アウトリーチを実施し、そのような場が地域のつながり創りや見守り関係の構築に寄与しうるかを検証することを目的とする。

具体的には、小さい子ども連れの親子の交流に主眼を置いた回、シニア世代の交流に主眼を置いた回と、計2回の音楽アウトリーチを実施し、来場者へのアンケート、ヒアリングを実施した。イベントの際には、本来のコンサートの要素に加えて、まちづくり研究時には施設の制約により充分に行えなかった、来場者同士の交流の場（楽器体験、来場者同士がコンサート内で交流できるプログラムの作成、終演後の演奏者・来場者を交えた交流会の実施）を設けた。また交流会には、三鷹市社会福祉協議会の福祉専門職（地域福祉コーディネーター）の同席を依頼し、住民の困りごとや相談があれば受け、今後も連絡を取れる体制を整えた。演奏者の選定の際には、今後の企画の継続性を念頭に置き、音楽アウトリーチに慣れており、三鷹にゆかりのある演奏家を起用した。1回目のイベントでは、三鷹市在住のソプラノ歌手、野田麻弥氏の率いるママさん演奏家トリオ“ミュージック・パレット”に、2回目のイベントでは、三鷹市出身の二胡奏者、濱島祐貴氏と、三鷹市にて音楽教室を主宰するピアニスト、山形花音氏に、コンサートと交流会のコーディネートを依頼した。

2 申請者プロフィール

加藤 亜希子（かとう あきこ）

三鷹市生まれ。三鷹双葉幼稚園、三鷹第六小学校、三鷹第一中学校卒業。東京大学工学部、桐朋学園大学音楽学部クラリネット専攻卒業、同研究生修了。クラリネットを大橋一徳、四戸世紀、鈴木良昭の各氏に師事。在学中より、新実徳英氏をはじめとする作曲家の新作初演・再演に多く携わる。現在は、室内楽・オーケストラ演奏、CDレコーディング、楽器指導に加え、自身のライフワークとして、小学校・福祉施設・公共施設等での演奏会や親子・子供向けコンサート等の音楽アウトリーチ活動を精力的に行っており、2024年9月、三鷹市内でのコンサートと地域住民の交流の場づくり等を目的として《三鷹コミュニティ・ラボ》を設立。

市内では、三鷹市新春賀詞交歓会、三鷹消防署・防火のつどい、UR 新川・島屋敷通りでの地域住民向けイベント、三鷹いきいきプラス・会員交流会、三鷹稲門会懇親会、杏林大学病院ロビーコンサート、鶏鳴幼稚園クリスマス会、しろがね gallery でのコンサート、株式会社大沢ガーデン・第32回大沢サロン、北野公園・KITANO PARK PICNIC DAY2、下連雀テラス等カフェでのミニコンサート、高齢者施設での音楽会など、各所で演奏を重ねている。

2023年度三鷹まちづくり研究員、執筆論文『コミュニティ・センターにおける音楽アウトリーチの実施による地域課題の解決可能性—連雀コミュニティ・センターでのコンサートを事例として—』が公開中。

三鷹市出身の二胡奏者・濱島祐貴氏とのユニット“デュオ・しもれん”、現代音楽演奏集団“ケフェウス五重奏団”、音楽アウトリーチを中心に活動する木管五重奏“もくごならべ”等のメンバー。都内音楽教室クラリネット講師。

3 協働研究事業の協力者プロフィール

◆ミュージック・パレット

「小さいお子さんから大人まで、彩り豊かな音楽を」をコンセプトに活動する、桐朋学園大学卒の野田麻弥（うた）、山岸麻悠美（ピアノ）、田中笑美子（ヴァイオリン）によるママ演奏家ユニット。本格クラシックを始め、童謡やミュージカルなどジャンルを超えたコンサートが好評で、幼稚園や市・区が主催する催しに多数出演、全身で音楽を感じ、想像し、表現する音楽体験を届けている。野田氏は、三鷹市内で《三鷹野田音楽教室》を主宰。

◆濱島 祐貴（はまじま ゆうき）

三鷹市出身の二胡奏者。第13回長江杯国際音楽コンクール民族部門、及び第11回大阪国際音楽コンクール民俗楽器部門に第2位(1位なし)入賞。第25回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第1位。これまで日本・中国・台湾・グアムなどで二胡の演奏を披露。桐朋学園大学作曲科卒業、桐朋学園大学院大学(修士課程)修了。現在、東京を拠点に二胡奏者として慰問演奏から新作初演まで幅広い演奏活動を行う傍ら、作曲・編曲活動にも積極的に取り組む。

◆山形 花音（やまがた かのん）

ピアニスト、ピアノ教室主宰。フェリス女学院大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻卒業、同大学院音楽研究科演奏専攻修了。フェリス女学院大学音楽学部にて伴奏助手を経て、現在、私立小学校の教員として務める傍ら三鷹駅北口にて《Kanon ピアノ教室》を主宰。また、ソロやピアノデュオ・室内楽などに力を入れ演奏活動をしている。

◆おむすびハウス三鷹

オーナーである藤原氏が空き家を改装し、2017年にオープンした三鷹市下連雀1丁目にある地域の居場所、交流の拠点。2021年、内閣府「社会参加活動章」受賞。2025年11月には延べ利用人数が3万人を超える。定期的な活動は、リフレッシュ体操、脳トレ健康麻雀、歌声サロン、スマホ&パソコン相談会、オープンカフェ、心のエクササイズ、おむすびサロン、フラワーデザインを楽しむ会（不定期におむすびカルチャーも）など多岐にわたる。

◆三鷹市社会福祉協議会

三鷹市新川（元気創造プラザ3階）に拠点を置く民間非営利組織（社会福祉法人）。市民やボランティア、行政、福祉施設と連携し、地域福祉向上、生活相談、ボランティア育成、権利擁護、募金など多様な福祉活動を包括的に実施。社会福祉法に基づき設置された民間組織で、地域住民や専門職の参加により「安心して暮らせる地域」を目指す福祉の推進役となっている。

4 協働研究事業の実施期間

2025年6月15日～2026年2月13日。

5 協働研究事業の背景

音楽アウトリーチは、本来、音楽に触れる機会の少ない住民に対しその機会を提供する活動を指すが、日本ではその趣旨を越えて、社会的課題や地域課題への取り組みといった独自の意義を付加された上で、多くの実践がなされている。だが、実施に際しては様々な制約や問題があり、まだ十分に普及しているとは言い難い。三鷹市でも、住民のニーズが一定数あるにも関わらず音楽鑑賞の機会の提供が充分でないというアンケート結果が出ている。

また一方で、近年、地域のつながりはますます希薄化しており、引きこもり、子（孤）育て、独居シニア、ケアラーの孤立など様々な問題が顕著化しているため、その解決が急がれる現状が続いている。

筆者の2023年度まちづくり研究にて、公民館におけるプロの演奏家による音楽アウトリーチは、住民のニーズが高く、住民のQOL向上に寄与することに加え、長期的には三鷹市の掲げる「コミュニティに対する無関心層の増加」、「コミュニティ間・世代間の分断、連携不足」といった地域課題の解決に寄与する可能性を示したが、本事業はそれをさらに発展させる形で、音楽アウトリーチに適しているとされる3つの“小”（小さな空間、短い時間、少人数）にて、来場者同士の交流の場を設けた地域住民を対象とした音楽アウトリーチを実施し、そのような場が地域のつながり創りや見守り関係の構築に寄与しうるかを検証することに主眼を置いている。

6 協働研究事業の詳細

6.1 研究の仮説と調査方法

以下に、本研究事業の仮説と調査方法を記す。

◆仮説

- (1) 音楽アウトリーチに、参加型体験および交流機会（音楽という共有体験を媒介とした交流）を組み合わせることで、初対面者同士の心理的ハードルが下がり、自然なつながり形成が促進される。
- (2) 文化活動（今回の場合は音楽）を媒介とした地域イベントは、単なる娯楽提供にとどまらず、地域での見守りが必要な層（子育て世帯やシニア世帯など）の安心感や、将来的な地域接続の基盤形成に寄与する。

◆調査方法

おむすびハウス三鷹にて、三鷹にゆかりのあるプロの演奏家よる2回の音楽アウトリーチ（コンサート）と、地域福祉コーディネーター・演奏家の同席による終演後の来場者交流会を行い、来場者に対してのアンケートを実施、その回答結果の分析と関係者の所感等から、上記2つの仮説の検証を行う。

(1) の検証のため、今回の企画には4つのパート、コンサート（演奏を聴くコーナー）、コンサート（参加型コーナー）、交流会（楽器体験コーナー）、交流会（お話、意見交換）を設け、アンケートにも各要素がつながり形成に寄与しうるか、音楽を媒介としない交流と比較して差異があるかを調査できる項目を盛り込むこととする。

6.2 研究の特徴（社会貢献性や先見性等）

以下に、本研究事業の特徴を記す。

◆実験の中でどのような点を検証し、何をどこまで明らかにするか

小さな子どもを連れた親子やシニア世代など、参加者それぞれが地域に対してどのようなニーズや困りごとを抱えているのかを明らかにする。そのうえで、音楽アウトリーチと懇親の場が、地域内のつながりづくりの関係構築に、どの程度、またどのような形で寄与するのかを検証し、研究期間内にその効果と課題を把握することを目標とする。

◆社会貢献性

地域のつながりを再び創出し、日常的なゆるやかなつながりを通じて、いざという時に助け合える関係性の構築に寄与し、そのことが地域の安心感や帰属意識を高め、地域活性化の一助となる。本実践研究の成果が実効性を持って示されれば、市内にとどまらず、同様の課題を抱える他地域においても応用可能なモデルとなり、より広域での地域課題の解決に貢献する可能性がある。

◆先見性

一般的なトークサロン形式では、地域活動に積極的に元気な市民が中心となりがちだが、本研究では、福祉専門職の協力を得て「コンサート鑑賞＋交流会」をセットで開催することで、孤立しがちな住民層にも参加のきっかけを提供し、より多様な層の地域参加を促すことができる点に先見性があると考えられる。

◆実効性

音楽アウトリーチを通じた場づくりは、地域内でのつながりや見守り関係の構築に一定の効果を持つことが期待される。イベントをきっかけに、地域住民の間に緩やかなつながりや顔見知り関係が生まれ、孤立の予防や心理的な安心感の醸成に寄与する。加えて、企画にサロンの機能を持たせることで、悩みを抱える市民が気軽に参加しやすい受け皿としての役割も果たすことができると考えられる。

◆持続性

地域住民にとって身近な場所で開催し、地域に根差した人材を活用することで、イベントの定期開催や他地域への展開が容易となる。こうした仕組みは、本研究事業が終了した後も、必要に応じて行政のサポートを受けながら、地域の主体的な運営によって継続可能であり、持続性のある取り組みとして機能する見込みがある。

◆発展性

同世代間のつながりにとどまらず、将来的には世代間交流を促進するイベントへと発展させることができると考えられる。たとえば、シニア世代が子どもたちを見守り、子どもたちがシニアに親しみを持って関わるといった、相互見守り関係の構築にもつなげていくことが可能である。

6. 3 実施した事業の事例検討

2025年12月と2026年1月に、おむすびハウス三鷹にて2回のイベント（音楽アウトリーチと、演奏家・地域福祉コーディネーターも交えた交流会）を実施したが、その際、来場者の「現在の地域との関わり方」、「今後の地域との関わり方の希望」、「同様の企画の継続希望」、「今後、地域住民のためにどのような企画があったら良いか」等を調査する目的で来場者向けアンケートを行った。本節では、2回のイベントの概要を示すと

もに、アンケート回答の集計結果の提示とその分析を行う。

6. 3. 1 第1回イベント（0歳からのクリスマスコンサート&交流会）の事例

◆イベントの概要

第1回イベントの概要を表1に、イベント風景を図1～図3に示す。

表1 第1回イベントの概要

催名	0歳からのクリスマスコンサート&交流会
開催日時	2025年12月24日（水）10:30-12:00
場所	おむすびハウス三鷹（三鷹市下連雀1-10-20）
内容	①歌、ヴァイオリン、ピアノによるコンサート（10:30-11:15） 9曲+アンコール1曲、聴衆参加型プログラムあり（歌唱、手拍子、ハンカチ遊びなど） ②交流会（11:25-12:00） 地域福祉コーディネーター（2名）も参加、楽器体験コーナーあり、簡単な飲食つき
入場料	なし
定員/年齢制限	15組程度（事前申し込み制）/0歳～小学生までのお子様と保護者の方
実際の来場者	14組（大人16名、子ども18名）



図1 コンサートの様子



図2 交流会の様子



図3 楽器体験の様子

交流会では、三鷹市社会福祉協議会の地域福祉コーディネーターの協力を得て、今後のお役立ち情報（地域福祉コーディネーター&相談会、子育てサロン&イベント、子育て支援事業、助産師会イベント、子育て関連イベントの各紹介）をアナウンス、チラシを配布してもらった。

◆来場者アンケートの回答と分析

来場者に配布したアンケートの内容（表2）と集計結果（図4～15）、および分析を以下に示す。アンケートは回収率を高められるよう、用紙への直接記入とGoogleフォームを用いたwebからの入力を併用し、10名から回答を得た。

選択形式の質問（1～6、8～11、13、15）については定量的な分析を行い、自由記述形式の質問（7、12、14、16～19）に関しては定性的な分析を行った。質問19に関しては、定性データを数値化（定量的に分析）し、結果を分かりやすく可視化する目的で、ユーザーローカルAIテキストマイニングツール（<https://textmining.userlocal.jp/>）を補完的に用いた。

表2 第1回イベント来場者アンケート質問項目（*は必須回答）

質問1	お住まいの地域を教えてください。* 上連雀/下連雀/野崎/井口/井の頭/牟礼/大沢/新川/中原/北野/深大寺/その他
質問2	このイベントを何でお知りになりましたか？* ※複数選択可 出演者・スタッフ・関係者から/友人・知人からの紹介/保育園・幼稚園にあったチラシを見て/公共施設にあったチラシを見て/三鷹ネットワーク大学のお知らせを見て/おむすびハウス三鷹の広報を見て/その他
質問3	お子様の年齢を教えてください。* ※複数選択可 0~1歳/2~3歳/4~6歳/7歳~
質問4	本日のイベントの満足度を教えてください。* とても満足/やや満足/普通/やや不満/とても不満
質問5	どのコーナーが良かったですか？* ※複数選択可 コンサート（演奏を聴くコーナー）/コンサート（一緒に体を動かしたりする参加型コーナー）/ 交流会（楽器体験コーナー）/交流会（お話、意見交換）/その他
質問6	現在、お住まいの地域で行われているイベント(キッズ向け・親子向け・保護者向けなど)の実施数や質についての満足度を教えてください。* とても満足/やや満足/普通/やや不満/とても不満
質問7	宜しければ前問の理由をお聞かせください。（自由記述）
質問8	これまで参加したことのある地域イベント（例：町会行事、講座、交流会など）と比べて、今回の【コンサート後の交流会】はどのように感じましたか。* とても違いを感じた/やや違いを感じた/どちらとも言えない/あまり違いを感じなかった/全く違いを感じなかった
質問9	他の地域イベントと比べて、今回の交流会で特徴的だと感じた点があれば選んでください。* ※複数選択可 初対面の人も話やすかった/会話のきっかけが自然に生まれた/年齢や立場の違いをあまり意識せずに話せた/ 場の雰囲気がやわらかく、緊張が少なかった/音楽の話題から会話が広がった/聴くだけでなく「一緒に場を共有している」 感じがあった/交流そのものを目的にしていない人も参加しやすそうだと感じた/他の集まりと特に違いは感じなかった/ よく分からない・比較できない/その他
質問10	お住まいの地域で、本日のようなイベントがまたあったら参加したいですか？* とても参加したい/やや参加したい/どちらとも言えない/あまり参加したくない/もう参加したくない
質問11	その際に、どのコーナーが多いと嬉しいですか？* ※複数選択可 コンサート（演奏を聴くコーナー）/コンサート（一緒に体を動かしたりする参加型コーナー）/ 交流会（楽器体験コーナー）/交流会（お話、意見交換）/その他/特になし
質問12	今後、キッズ向け・親子向け・保護者向けにどのようなイベント・情報などがもっとあったら良いと思いますか？（自由記述）
質問13	現在、お住まいの地域で、何か地域に関わる活動をされていますか？* はい/いいえ
質問14	“はい”の方は具体的にどのような活動ですか？（自由記述） 例)町内会、PTA、サークル活動、ボランティア活動など
質問15	今後、お住まいの地域で活動やつながりを増やしたいですか？* とても増やしたい/やや増やしたい/どちらとも言えない/あまり増やしたくない/全く増やしたくない
質問16	宜しければ前問の理由をお聞かせください。（自由記述）
質問17	地域の活動に参加する際に、課題や障壁になっている事柄があれば教えてください。（自由記述）
質問18	三鷹市などの自治体に対する要望があればお聞かせください。（自由記述）

質問 19 その他、本日の感想、イベントに対してのご要望など、ご自由にお書きください。(自由記述)

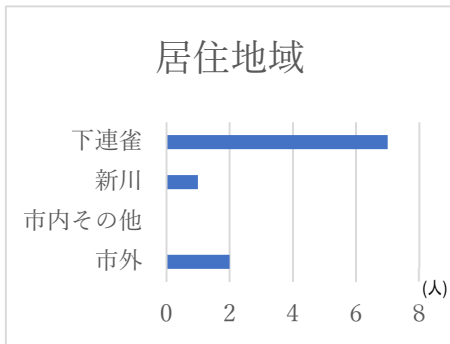


図 4 質問 1 回答 (居住地)

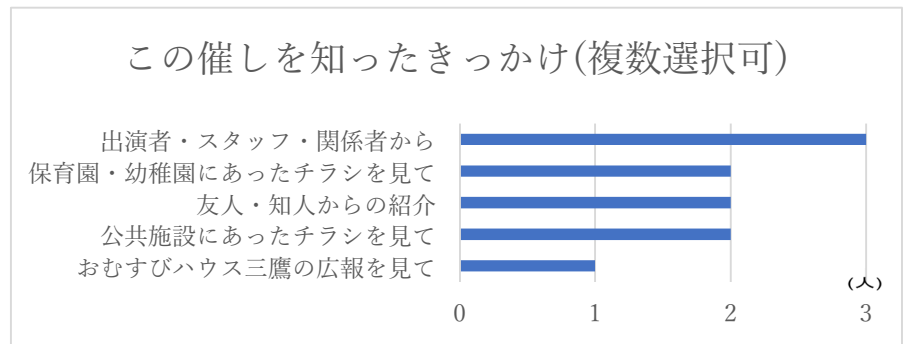


図 5 質問 2 回答 (この催しを知ったきっかけ)

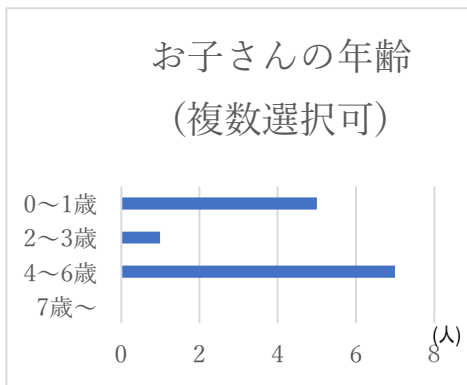


図 6 質問 3 回答 (お子さんの年齢)

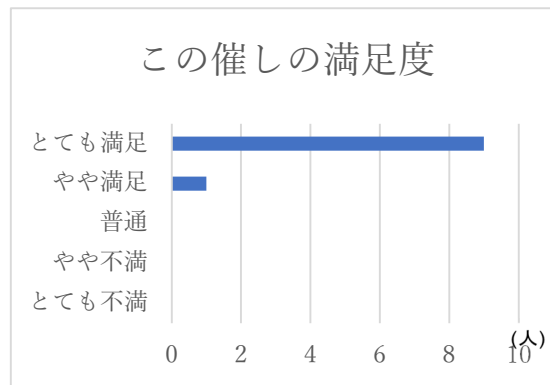


図 7 質問 4 回答 (この催しの満足度)

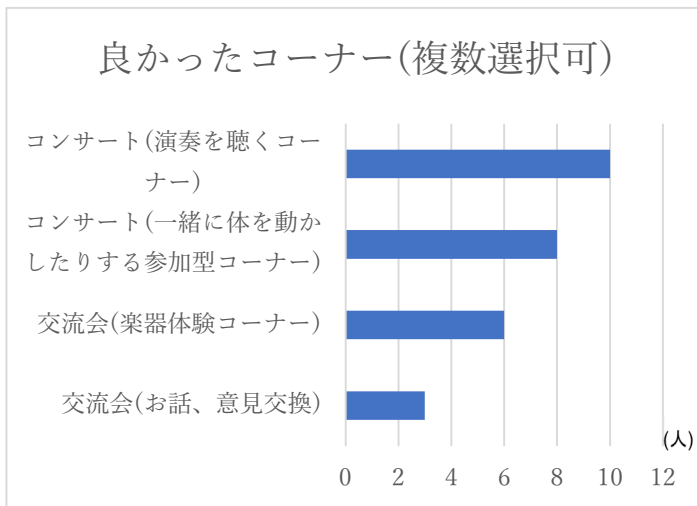


図 8 質問 5 回答 (良かったコーナー)

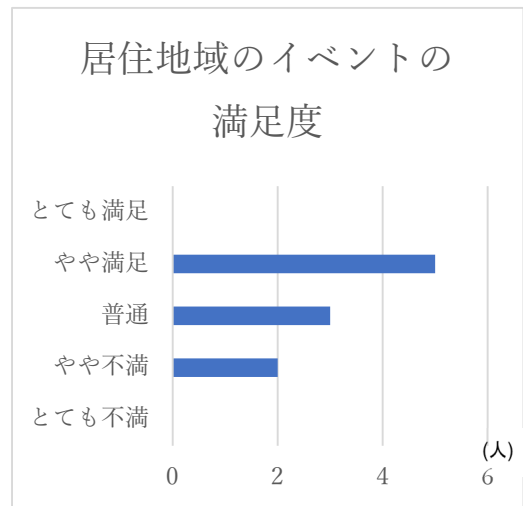


図 9 質問 6 回答 (居住地のイベントの満足度)

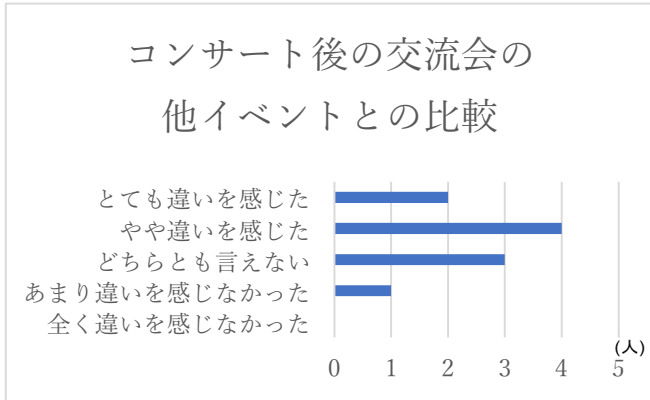


図10 質問8回答（コンサート後の交流会の他イベントとの比較）

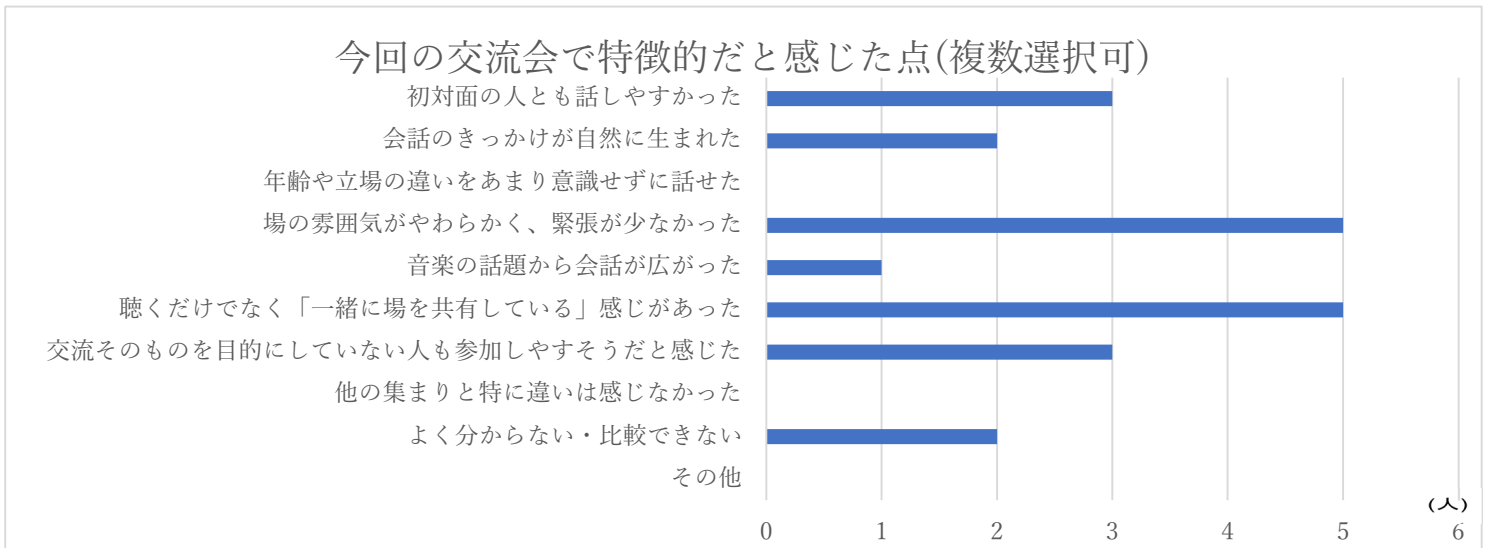


図11 質問9回答（今回の交流会で特徴的だと感じた点）

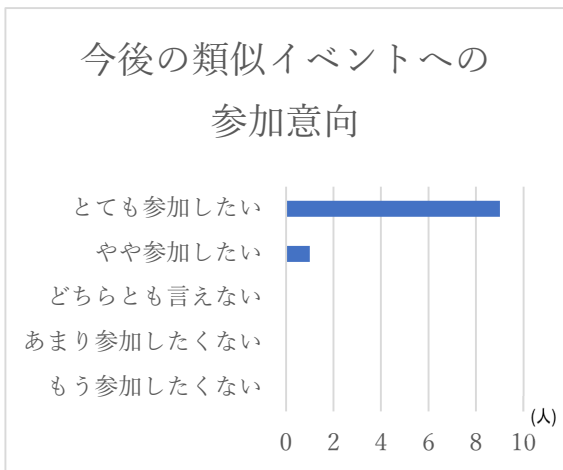


図12 質問10回答（今後の類似イベントへの参加意向）

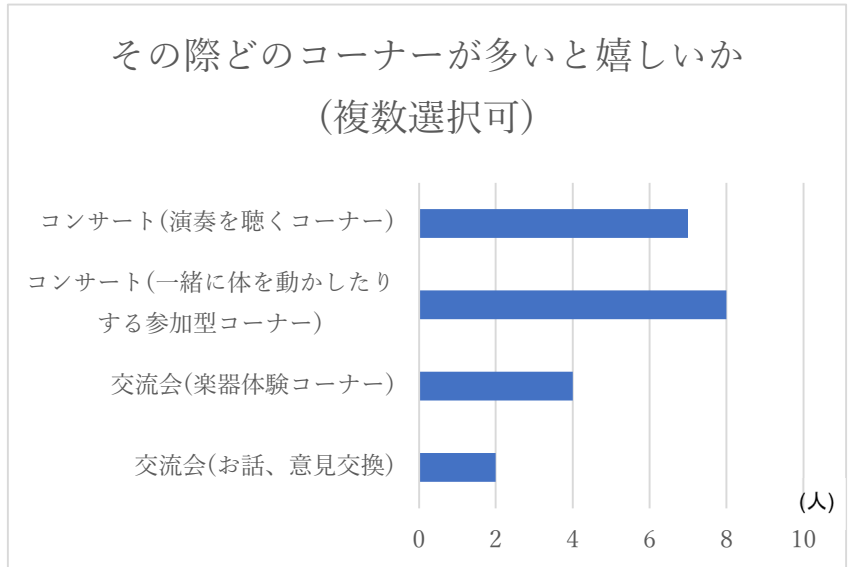


図13 質問11回答（その際どのコーナーが多いと嬉しいか）

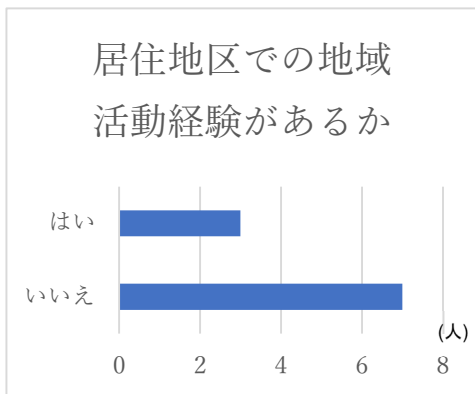


図 14 質問 13 回答 (居住地域での活動経験)

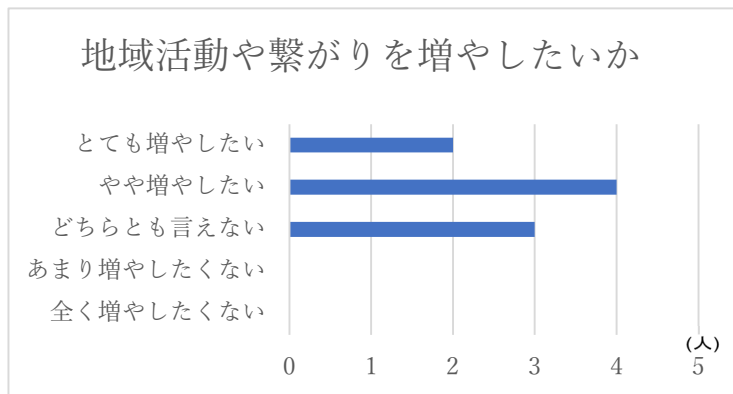


図 15 質問 15 回答 (地域活動や繋がりを増やしたいか)

選択形式の質問に関して、まず回答者の属性を見ると、実施施設のある下連雀在住者の割合が高く、参加者の子どもの年齢は 0 歳から未就学児まで幅広く分布していた。小学校の授業時間帯である平日午前中の開催ということもあり、小学生の参加はなかった。広報については、出演者・関係者による直接の案内に加えて、近隣(下連雀・上連雀・新川地区)の幼稚園・保育園や各公共施設へのチラシ送付、インターネットによる周知等を行い、結果として複数の広報経路から申し込みがあったことが確認された。特に、未就学児を持つ家庭にとっては、自宅周辺で開催されるイベントの利便性が高く、生活圏内での情報接触が参加行動につながりやすいことが示唆される(図 4~6 参照)。イベント全体の満足度は非常に高く、演奏を聴くコーナーに加え、参加型コーナー、楽器体験、交流会での対話など、複数要素が満足度に寄与していることが分かった(図 7、8 参照)。今後の類似イベントへの参加意欲も高く、各構成要素が一定の支持を得ている(図 12、13 参照)。コンサート後の交流会については、従来のものと比較して「とても違いを感じた」、「やや違いを感じた」という層が「どちらとも言えない」、「あまり違いを感じなかった」という層より多く、交流会の特徴として、「場の雰囲気がやわらかく、緊張が少なかった」、「聴くだけでなく『一緒に場を共有している』感じがかった」という意見が多かった(図 10、11 参照)。いきなり初対面の人たちとの交流会という参加のハードルが高く感じられるが、事前に共有体験があること、音楽という共通の関心事、適切な場の雰囲気作り・ファシリテーションがあることで、ゆるやかなつながり創り、情報交換の促進に繋がる可能性があると考えられる。居住地域でのイベントの質・量の満足度は、「やや満足」に次いで「普通」、「やや不満」の回答があり、地域活動に関しては、現在行っていない人が多いが、今後活動やつながりを増やしたいと考えている割合が高いことが分かった(図 9、14、15 参照)。

自由記述形式の質問に関して、まず居住地域のイベントの満足度(質問 7)について、三鷹市内の参加者に注目してみると、「毎月イベントがある」、「イベント実施数は多過ぎず少な過ぎないので、気が向いた時にふらっと行けて良い」という声がある一方で、「もう少し実施数を増やして欲しい」、「家から離れているとなかなか行けない、開催回数は武蔵野などの他地域に比べて少ないと思う」、「幼児と小学生が同時に参加できるイベントが少なく参加しづらい」という意見もあった。今後どのようなイベント・情報を望むか(質問 12)については、「月齢が近いママ達との交流会」、「赤ちゃんから参加できるコンサート」、「親子ヨガ・体操」、「ゲーム遊び(電子機器ではなく大人数でコミュニケーションをとれるような)」、「子ども同士で協力して何か作成するイベント」、「幼稚園や習い事、民間ではやらないようなイベント」、「ハロウィンなど季節のイベント」等、沢山の要望が出た。参加している地域活動の種類(質問 14)は PTA、ボランティア、町内会等で、今後の地域活動・つながりの増減意向(質問 16)については、「育休中のため色々なことに参加してみたい」、「つながりがあると楽しい」、「近所に顔見知りが多いと安心する」、「今の子は地域の人や別の学校の子など関わることが少ないため、色々な人たちと関われる場が必要だと感じる」、「子どもが進学した際にすでに知り合いがいると良い」等、貴重な声

が寄せられた。地域活動への参加の課題・障壁（質問 17）では、「場所」、「費用」、「開催日程（土日が仕事でなかなか参加できない）」、「時間（子どもの送迎時間と重なる）」、「子育てが想像以上に大変で時間がとれない」等、切実な意見が多数届いた。感想や要望などの自由記述（質問 19）に関しては、「素敵な演奏を子供にきかせる事ができて嬉しい」、「至近距離で生演奏が聴けてとても癒された」、「楽器体験できる機会はほとんどないのでとても良かった」、「支援センターよりもママ達と交流しやすくありがたかった」、「ぜひまた開催して欲しい」等、前向きな意見ばかりであった。

三鷹市への要望（質問 18）は、割愛せずに以下に全て掲載する。

- ・子育てイベント情報を SNS などで発信してほしい。
- ・おもいきりボール遊びができる公園か施設があるといいなと思う。
- ・狭い道でも子どもたちが安心して自転車を走れるようにしてほしい。
- ・三鷹市立学校の情報がもっとあると嬉しい。市立と私立を比較して良いところ、不十分なところ、わかった上で納得した上で学校に通わせる事ができると嬉しい。
- ・発達障害などの子どもを持つ保護者から聞いた話ですが、相談先がわかりづらかったり、踏み込んだ対応までしてもらえない事があるそうです。特にサポートが必要な人へ、情報や支援があると安心して子育てが出来ると思いました。
- ・スポーツ以外にも、スバルの短期教室のようなものがあると良いです。

最後に、質問 19 の回答に対して、テキストマイニングを行った結果を以下に示す。ワードクラウドは、出現回数の多い単語ほど大きく表示される仕組みで、感情分析は、全ての感情の平均値を 50% とし、文章中の各感情の度合いを数値に換算してグラフ化したものである。ワードクラウドは、「コンサート」、「楽しい」、「演奏」、「参加」、「素敵」といった単語の他に、自由記述内に複数回出てきたキーワード、動詞や形容詞等を中心に図が構成されている（図 16 参照）。感情分析では、「喜び」の度合いがとても高く、次いで「好き」の度合いが高かったことが分かる（図 17 参照）。

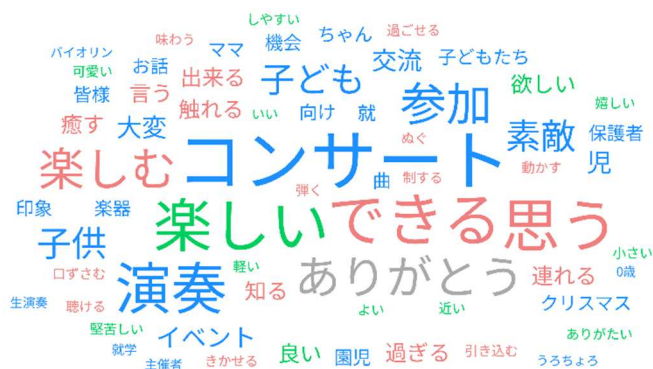


図 16 質問 19 回答によるワードクラウド

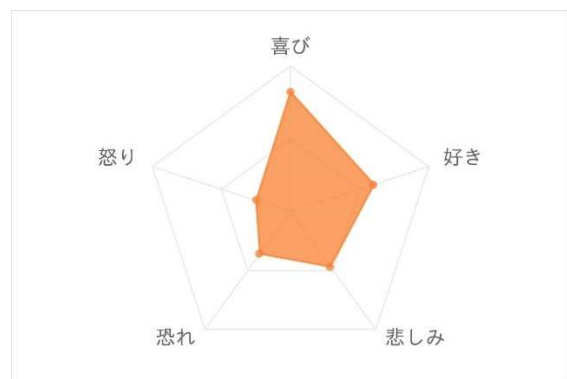


図 17 質問 19 回答による感情分析

6. 3. 2 第2回イベント（二胡とピアノの調べ&交流会）の事例

◆イベントの概要

第2回イベントの概要を表 3 に、イベント風景を図 18～図 20 に示す。

表3 第2回イベントの概要

催名	二胡とピアノの調べ&交流会
開催日時	2026年1月25日(日) 14:00-15:40
場所	おむすびハウス三鷹(三鷹市下連雀1-10-20)
内容	①二胡、ピアノによるコンサート(14:00-15:00) 10曲+アンコール1曲、聴衆参加型プログラムあり(歌唱、楽器体験コーナーなど) ②交流会(15:05-15:40) 地域福祉コーディネーター(1名)も参加、楽器体験コーナーあり、簡単な飲食つき
入場料	なし
定員/年齢制限	20名程度(当日先着制)/なし
実際の来場者	19名



図18 コンサートの様子



図19 楽器体験の様子



図20 交流会の様子

交流会では、第1回イベント同様、地域福祉コーディネーターの協力を得て、今後のお役立ち情報(地域福祉コーディネーター&相談会、福祉関連イベント、シニア向けの健康関連イベント2種類、シニア向けの相談サロン、お役立ち講座の各紹介)をアナウンス、チラシを配布してもらった。

◆来場者アンケートの回答と分析

来場者に配布したアンケートの内容(表4)と集計結果(図21~32)、および分析を以下に示す。アンケートは回収率を高められるよう、チラシへの事前記載、当日の積極的な呼びかけを行い、用紙への直接記入を用いて18名から回答を得た。分析方法は第1回イベントと同様である。

表4 第2回イベント来場者アンケート質問項目

質問1	お住まいの地域を教えてください。 上連雀/下連雀/野崎/井口/井の頭/牟礼/大沢/新川/中原/北野/深大寺/その他
質問2	このイベントを何でお知りになりましたか? ※複数選択可 出演者・スタッフ・関係者から/友人・知人からの紹介/公共施設にあったチラシを見て/ポスティングされたチラシを見て/ /三鷹ネットワーク大学のお知らせを見て/おむすびハウス三鷹の広報を見て/その他
質問3	年齢を教えてください。 ※複数選択可 10代/20代/30代/40代/50代/60代/70代/80代/90代~
質問4	本日のイベントの満足度を教えてください。 とても満足/やや満足/普通/やや不満/とても不満

質問 5	どのコーナーが良かったですか？ ※複数選択可 コンサート（演奏を聴くコーナー）/コンサート（一緒に歌ったりする参加型コーナー）/ 交流会（楽器体験コーナー）/交流会（お話、意見交換）/その他
質問 6	現在、お住まいの地域で行われている近隣住民向けイベントの実施数や質についての満足度を教えてください。 とても満足/やや満足/普通/やや不満/とても不満
質問 7	宜しければ前問の理由をお聞かせください。（自由記述）
質問 8	これまで参加したことのある地域イベント（例：町会行事、講座、交流会など）と比べて、今回の【コンサート後の交流会】はどのように感じましたか。 とても違いを感じた/やや違いを感じた/どちらとも言えない/あまり違いを感じなかった/全く違いを感じなかった
質問 9	他の地域イベントと比べて、今回の交流会で特徴的だと感じた点があれば選んでください。 ※複数選択可 初対面の人も話しやすかった/会話のきっかけが自然に生まれた/年齢や立場の違いをあまり意識せずに話せた/ 場の雰囲気やわらかく、緊張が少なかった/音楽の話題から会話が広がった/聴くだけでなく「一緒に場を共有している」 感じがあった/交流そのものを目的にしていない人も参加しやすそうだと感じた/他の集まりと特に違いは感じなかった/ よく分からない・比較できない/その他
質問 10	お住まいの地域で、本日のようなイベントがまたあったら参加したいですか？ とても参加したい/やや参加したい/どちらとも言えない/あまり参加したくない/もう参加したくない
質問 11	その際に、どのコーナーが多いと嬉しいですか？ ※複数選択可 コンサート（演奏を聴くコーナー）/コンサート（一緒に歌ったりする参加型コーナー）/ 交流会（楽器体験コーナー）/交流会（お話、意見交換）/その他/特になし
質問 12	今後、地域住民向けにどのようなイベント・情報などがもっとあったら良いと思いますか？（自由記述）
質問 13	現在、お住まいの地域で、何か地域に関わる活動をされていますか？ はい/いいえ
質問 14	“はい”の方は具体的にどのような活動ですか？（自由記述） 例)町内会、PTA、サークル活動、ボランティア活動など
質問 15	今後、お住まいの地域で活動やつながりを増やしたいですか？ とても増やしたい/やや増やしたい/どちらとも言えない/あまり増やしたくない/全く増やしたくない
質問 16	宜しければ前問の理由をお聞かせください。（自由記述）
質問 17	地域の活動に参加する際に、課題や障壁になっている事柄があれば教えてください。（自由記述）
質問 18	三鷹市などの自治体に対する要望があればお聞かせください。（自由記述）
質問 19	その他、本日の感想、イベントに対してのご要望など、ご自由にお書きください。（自由記述）

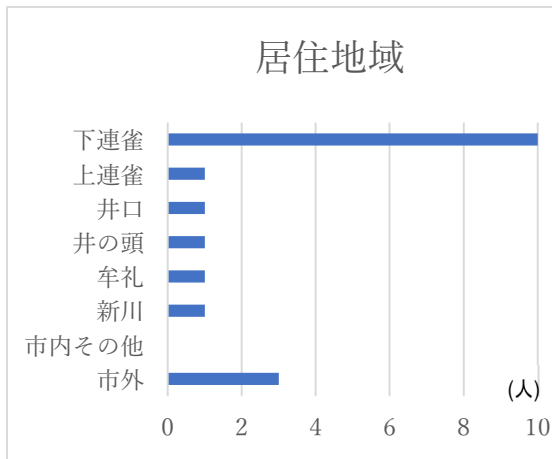


図 21 質問 1 回答 (居住地)

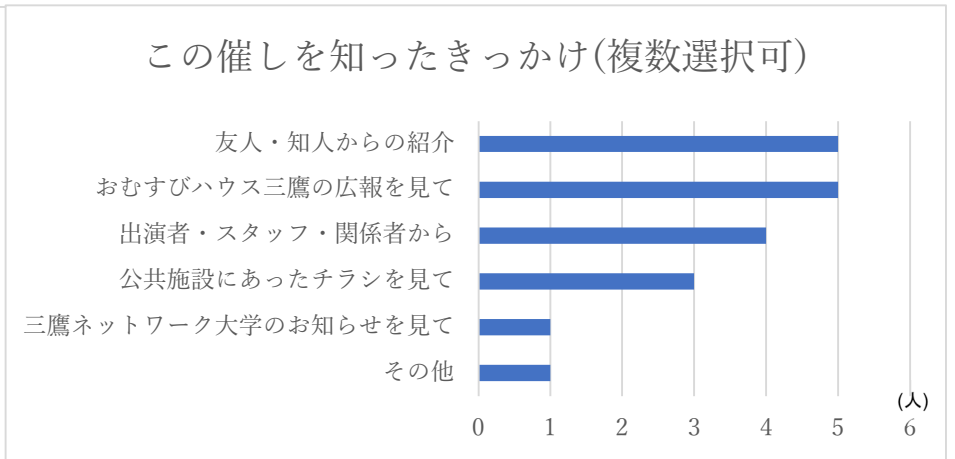


図 22 質問 2 回答 (この催しを知ったきっかけ)

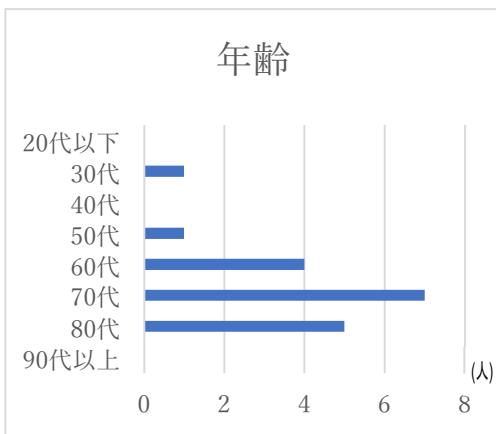


図 23 質問 3 回答 (年齢)

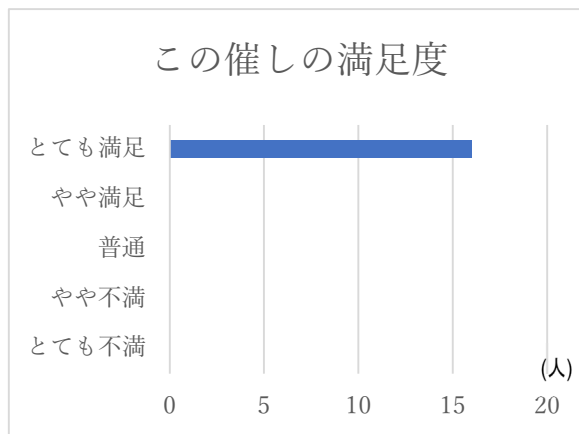


図 24 質問 4 回答 (この催しの満足度)

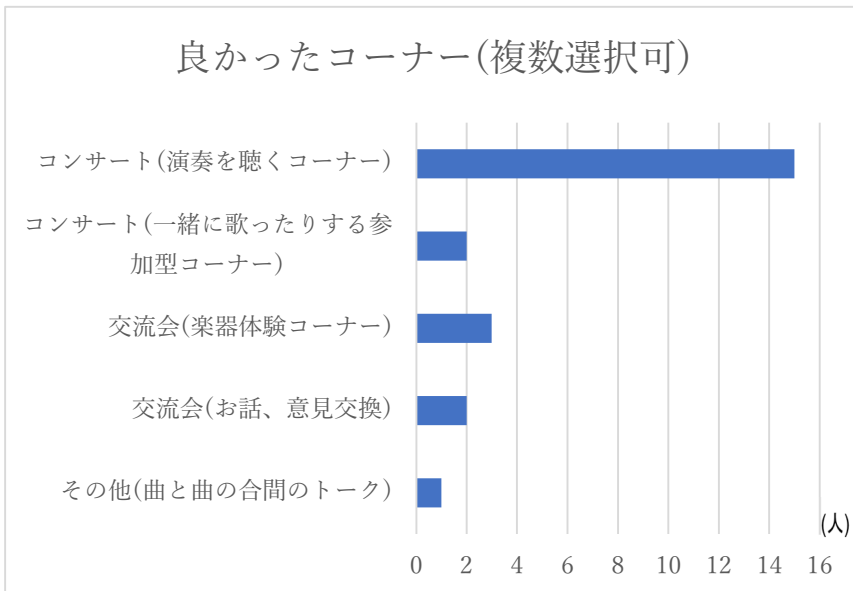


図 25 質問 5 回答 (良かったコーナー)

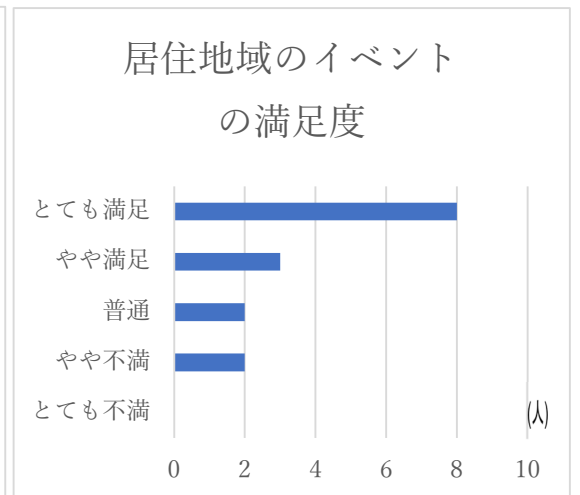


図 26 質問 6 回答 (居住地のイベントの満足度)

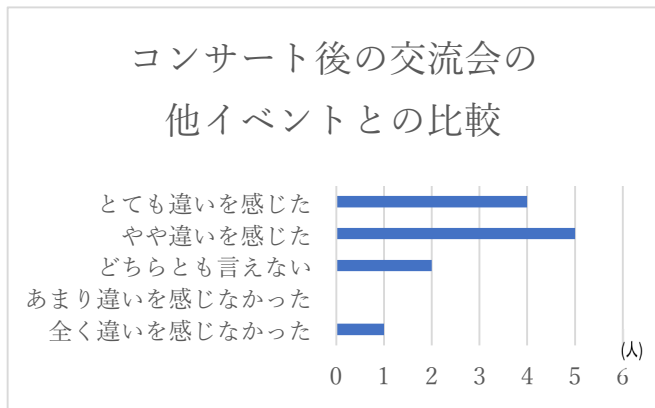


図 27 質問 8 回答 (コンサート後の交流会の他イベントとの比較)

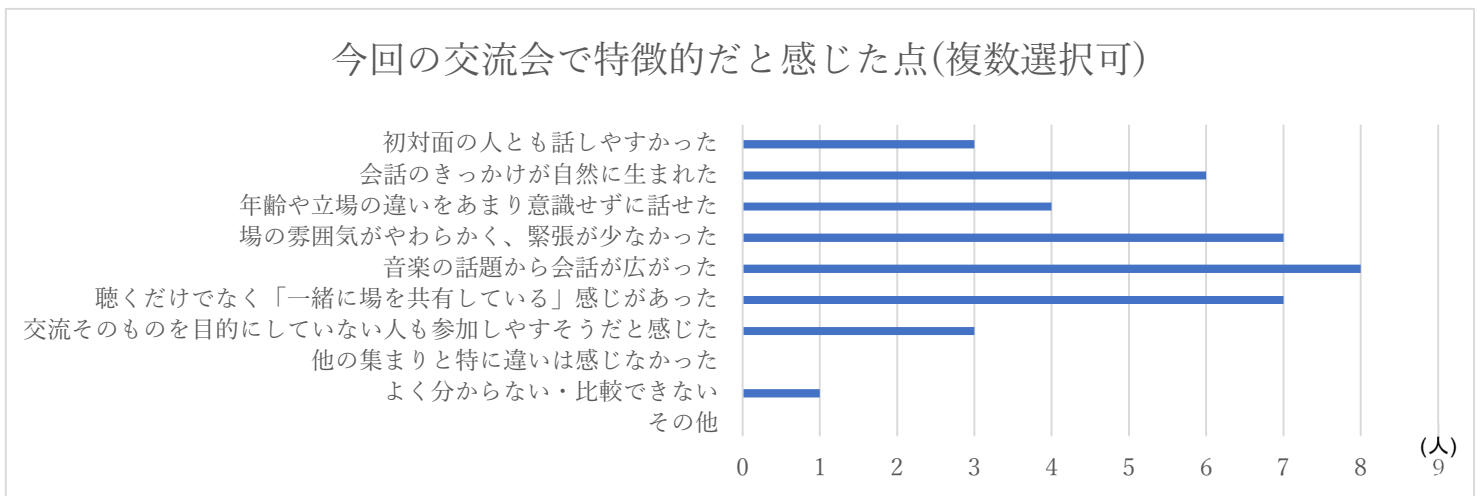


図 28 質問 9 回答 (今回の交流会で特徴的だと感じた点)

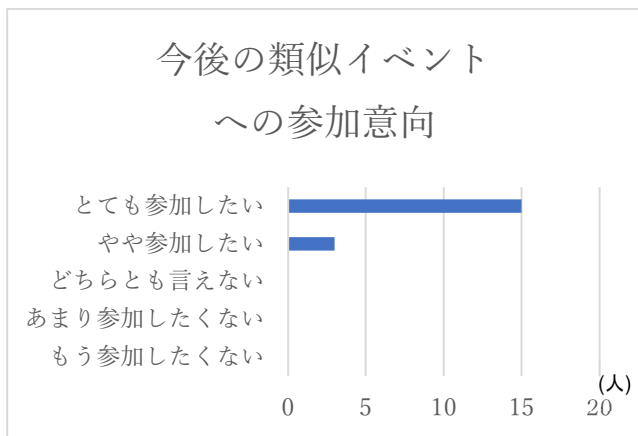


図 29 質問 10 回答 (今後の類似イベントへの参加意向)

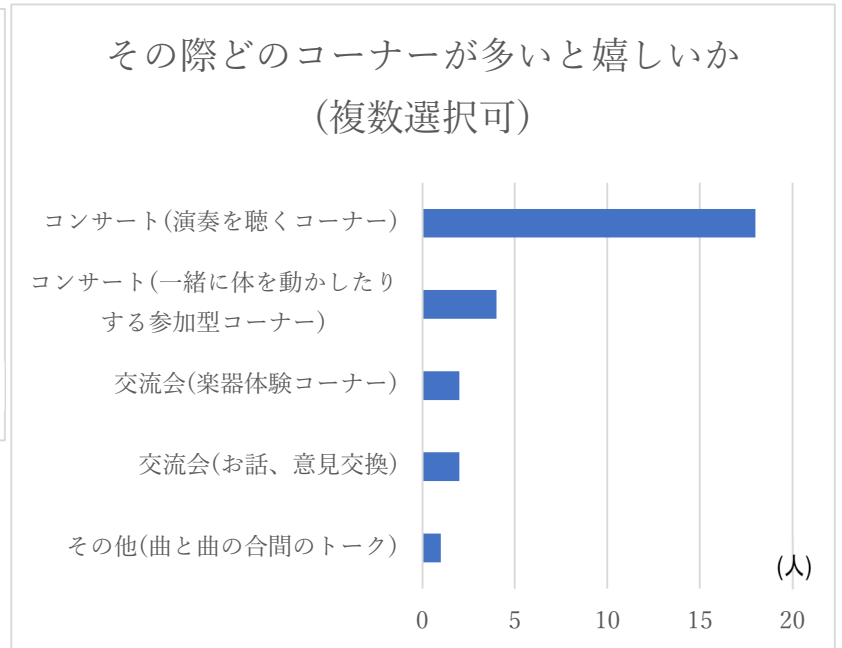


図 30 質問 11 回答 (その際どのコーナーが多いと嬉しいか)

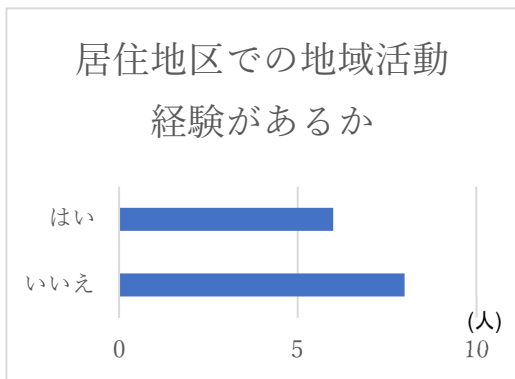


図 31 質問 13 回答 (居住地域での活動経験)

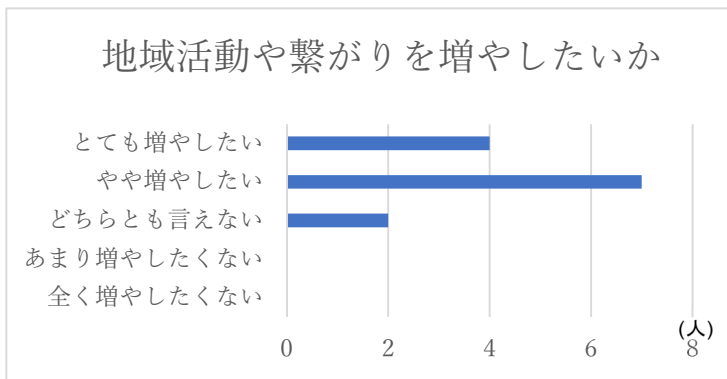


図 32 質問 15 回答 (地域活動や繋がりを増やしたいか)

選択形式の質問に関して、まず回答者の属性を見ると、実施施設のある下連雀在住者の割合が高く、年齢は60代以上が大半であった。広報については、出演者・関係者による直接の案内に加えて、おむすびハウス三鷹での掲載、各公共施設へのチラシ送付、近隣住戸（下連雀1丁目）へのポスティング、インターネットによる周知等を行い、当日は複数の広報経路から来場に至ったことが確認された。第1回イベントと同様、シニア世代に関しても、自宅周辺でのイベントの有用性が示唆される（図 21～23 参照）。ポスティングチラシを見ての近隣住民の来場はなかったが、三鷹市等の後援や共催がない場合、今後も含めて企画や実施者の信頼性の担保が課題となるのではないかと考えられる。イベント全体の満足度は非常に高く、演奏を聴くコーナーの寄与が大きい、他の各要素も一定程度、寄与していることが分かった（図 24、25 参照）。今後の類似イベントへの参加意向も高く、こちらも演奏を聴くコーナーの支持が圧倒的で、他の各構成要素も一定の支持があった（図 29、30 参照）。コンサート後の交流会については、従来ものと比較して「とても違いを感じた」、「やや違いを感じた」という層が多く、交流会の特徴として、「会話のきっかけが自然に生まれた」、「場の雰囲気がやわらかく、緊張が少なかった」、「音楽の話題から会話が広がった」、「聴くだけでなく『一緒に場を共有している』感じがあった」等の意見が多かった（図 27、28 参照）。居住地域でのイベントの質・量には、「とても満足」している層が多く、「やや満足」、「普通」、「やや不満」の回答もあった。地域活動に関しては、現在行っていない人が若千多く、今後活動やつながりを増やしたいと考えている割合は高いことが分かった（図 26、31、32 参照）。

自由記述形式の質問に関して、まず居住地域のイベントの満足度（質問 7）について、三鷹市内の参加者に注目してみると、「おむすびハウスは地域にとっても貢献しており、イベントが充実していて満足している」、「牟礼コミュニティ・センター（コミセン）、井の頭コミセンにて楽しい催しが多い」等の声があった一方、「音楽系の種類が少ない」、「芸術文化センター（芸文）はあるものの、他では特筆すべきイベントが少ない印象」といった意見もあった。今後どのようなイベント・情報を望むか（質問 12）については、「芸文などの大箱演奏会ではなく、小さい単位で分散した音楽系コミュニティ、イベントがあればありがたい」、「子ども達とお年寄りが一緒になれるようなイベント（特にコンサート）があれば良い」等、その地域に根差したイベントを望む声、「お餅つき」、「スマホ講習会」、「様々な楽器によるコンサート」等を望む意見も出た。参加している地域活動の種類（質問 14）はボランティア、町内会、防災の会、サークル活動、地域活動での委員等で、今後の地域活動・つながりの増減意向（質問 16）については、増やしたいという層の意見には、「健康維持生活を送るため」、「何かあった時に力になってもらえるため」、「音楽を通じて自然な形で地域交流できることは大切だと思う」、「喫茶店のコーヒー代も高くなり、高齢者が中程度のコミュニケーションを日常でとる場が少なくなったため、ハーフパブリックなコミュニティの需要が増えていると感じる」等、貴重な声が寄せられた。地域活動への参加の課題・障壁（質問 17）では、「デジタル情報が充実していない」、「財政・費用面」、「場所の利便性」、「健康面の不安」、「若い親・

今回の演奏者（講師）から、来場者や施設等についての気付き、イベント実施の所感を得たので、まずはそちらを掲載する。

- ・地域密着型でコンサートを開催する私たちにとって大切な、「親子で音楽を聴きたい」「子供に音楽に触れさせてあげたい」という希望を持った親御さんがどのくらいいらっしゃるか知ることができる、良い機会となった。お客様もとてもあたたかく、交流会ではどんな音楽を聞きたいかをお話ししてくださったり、楽器を始める年齢や習い事ならではの疑問などを質問してくださった。コンサートを超えたことを話せる機会は実はあまりなく、双方にとってとても有意義な時間となっていたと感じる。私たちは音楽を届ける役目ではあるが、イベントに来てくださった方々の多くが音楽のことや楽器について以外にも、地域でどんな施設があるか、子育ての悩みや世間話（という名の情報共有）をお子様の月齢・年齢の垣根なくお話されているのが印象的だった。終始和やかで、楽しく過ごせるとも素敵なイベントだったと感じた。
- ・コンサートは舞台→客席の一方通行なコミュニケーションになりがちだが、終演後に来場者との懇親タイムを設けることで、奏者自身もコミュニティの一員として来場者と対等で相互的なコミュニケーションができたように思う。本企画をきっかけに、今後積極的に外出をしようと思うようになった方や、実際に楽器を習いたいという方が複数いらして、それぞれの共感から話に花が咲いていたのが印象的だった。
- ・三鷹市に住んでいる方に演奏を聴いてもらい実際に歓談する機会があったことで来場者の感想や想いを知ることができた。演奏の中では、来場者も一緒に参加してもらった曲が一体感があり、来場者の年齢層にあった選曲で好評だった。

また、協力を賜った地域福祉コーディネーターからは、「交流会では、半分ほどが初めましての方で、話を聞いて情報を届けられたことが良かった。企画後、来場者と地域の体操グループでお会いした際、『日頃、二胡の演奏を聴く機会などないから本当によかった。心が癒された。こういう企画が地域にあると、行ってみようかなと思える』と話していた。逆に私は、演奏後の交流の時間で、私の知らない三鷹の情報（三鷹駅前の歴史や仙川の歴史、下連雀の住宅街にあるレストランの情報など）を教えてもらい、情報収集ができた。」という所感を得た。

仮説（1）に関しては、6.1 節で前述したように 2 回の企画をそれぞれ 4 つのパートから構成し、アンケートにて、各要素の貢献度、音楽を媒介としない交流と比較して差異があるか等の検証を行った（質問 4、5、8～11）。まず、特に小さい子どものいる世帯では、鑑賞型は勿論のこと、参加型・体験型のプログラムの需要が高く、同じく子どもを持つ家庭との交流の機会に対する需要も一定数あることが分かった。シニア世代を中心にした層では、鑑賞型の需要が大変高く、参加型・体験型のプログラム、交流の機会に対する需要も確認された。また、どちらの回でも、今回の交流会について、他イベントの交流会と違いを感じた層が多く、特徴的と感じた点は「会話のきっかけが自然に生まれた」、「場の雰囲気がやわらかく、緊張が少なかった」、「音楽の話題から会話が広がった」、「聴くだけでなく『一緒に場を共有している』感じがあった」等が上位に挙がっており、事前に音楽体験を共有した時間があったことが、つながり創りの促進に一定程度、寄与したのではないかと考えられる。こちらは、関係者の所感、来場者の自由記述（感想）からも確認することができた。

仮説（2）に関しては、質問 6、7、11～17 の回答を中心に考察を行う。現状の地域イベントの質・量に対しての満足度や、現在の地域活動の有無に関わらず、今後も今回と同じようなイベントを望む声がとても多く、大きなホールでなく地域に根差した小規模の音楽イベント、他者との交流や体験ができるイベントへの需要も確認された。また今後、健康維持や自身の生きがい、もしもの時に備えて、子どものため、などの理由で地域でのつながりや活動を増やしたいと考えてはいるが、様々な制約があり実際には実現できていない潜在層が一定数、存

在していることも分かった。これらの結果より、今回のように音楽をはじめとする文化芸術を媒介とした地域イベントを開催することは、娯楽提供の範疇を超えて、地域での安心感の醸成、今後の地域接続のための基盤形成に十分に寄与しうると考えられる。

以上のことから、本事業は音楽鑑賞の機会提供にとどまらず、参加者同士が共通体験を通じて緩やかにつながる場として機能する可能性を持っていると評価できる。特に小さい子どもを育てる家庭やシニア世代など、地域での見守りが必要な層にとっては、心理的負担の少ない環境で他者と交流できる機会は貴重であり、孤立の緩和や将来的な地域関係形成の基盤づくりに寄与しうる。また今後、継続的に企画を実施することで、音楽という文化的要素を媒介に、地域内の信頼関係やつながりを醸成する取り組みとして一定の成果を上げていくと思われる。その上で、開催回数の検討や年齢層に応じた企画設計を行い、より持続的な地域コミュニティ形成へと発展させていくことが重要となると考えている。

8 三鷹市への提案

前章では、音楽等の文化活動を媒介として住民同士が交流可能な地域イベントは、娯楽提供の役割にとどまらず、将来的な地域接続の基盤形成に寄与しうることを示したが、一方で、活動継続に向けて、充分なリソースを持たない市民だけの活動では様々な障壁・課題があることも見えてきた。以上のことをふまえ、来場者アンケート、関係者所感、及び筆者がこれまでに他自治体と協働し、取り組みを調べて得た知見等から、三鷹市には以下の3項目を提案したい。

- (1) SNSをはじめとした媒体での、市内イベントやお役立ち情報のリスト化と積極的な発信
- (2) 市民・地域団体の取り組みを後押しする継続的で多面的（人的、財政的など）な支援
- (3) ハード（設備）の強化・発掘、特に公共設備を広く全市民に開かれた場とするための制度改定

(1) に関して、企画の来場者から複数の指摘があったように、特にSNSでの情報発信に改善の余地があると考えられる。近隣自治体との比較では、まず公式LINEについては、杉並区が「子ども・教育」、「環境」、「安全・安心」など複数のテーマに応じて、イベントや募集情報を毎日、数種類ずつ発信しているのに対し、三鷹市は発信が不定期（数日おき～毎日、時期による）で、1回の配信につき1イベントが基本となっている。インスタグラムについては、他自治体では市民に向けたお役立ち情報、政策等を発信するアカウントが多い中、三鷹市は市内の風景やイベントの写真など、どちらかと言うと市民向けより対外的なPRの要素が強いように感じられる。公式YouTubeチャンネルについても、再生回数が少ない動画が散見されるが、市民への周知不足、市民のニーズにあっていないこと等が要因として挙げられるのではないかと考えられる。市民活動を広く周知することで団体の活動継続率の向上につなげるため、三鷹市には、既存のプラットフォームを市民の情報取得のために、より積極的に生かすこと、市民のための情報をテーマごとに可能な限りリスト化して一元的に発信すること、その上で市民へ情報が行き届くよう市報・掲示等での周知もあわせて提案したい。

(2) に関して、今回協力を得た演奏家から今後三鷹市に望むこととして、「演奏家による自主企画の多面的なサポートを積極的に行ってもらえるとありがたい」という意見が出た。また、いきいきプラス、住民協議会などで広く地域活動を継続している市民からも、多くの地域団体の息の長い活動のために、特に財政面での現状の支援制度の改定を望む声が出ている。人員や財源の確保はどの自治体でも喫緊の課題となっていると考えられるが、自治体が積極的にアクションを起こして市民と協働し、市の財政に極力負荷をかけずに市民に文化芸術に触れる機会を提供している例として、八王子市の長期的で包括的な取り組み（八王子芸術祭）を紹介したい。八王子市の関連組織である八王子市学園都市文化ふれあい財団は、より多くの市民に身近で本物の文化

を楽しんでもらうため、文化庁等の助成金を取得し、演奏家等、各分野のプロを市内の各所（公共施設等）に派遣する試みを行っている（付録の章に、筆者も出演した、八王子市の財団と市民センターの住民協議会との協働イベントのチラシを掲載する）。特に、継続的な支援が不足した状態で、人的・財政的な基盤を十分に持たない市民個人、少人数の団体等に地域の課題解決を任せてしまうと、結果として世代交代が上手くいかずに高齢化して人手不足が慢性化する、主要メンバーが子どもの卒業等の転機で抜けて活動が縮小する、イベントの質や回数が維持できない等の問題が生まれ、市内で見聞きする限りでも、実際に上記のような状況に陥っている団体が多く存在している。このような現状をふまえ、三鷹市には、市の課題解決のために活動している市民や団体と協働（もしくはできる限り主導的な役割を果たし）、積極的で多面的な支援を行う、機会の提供を継続していくことをぜひ提案したい。

(3) に関しては、同じく演奏家側から、「音楽アウトリーチを可能にする空間の増設を希望したい」、「実施側の問題点としては、50～100人前後を呼んでイベントができる施設が少ないこと。我々が電子ピアノを持ち歩くことは可能だが、やはり小さなお子様には電子ではないピアノ（アップライトは置きやすく移動しやすく、良い音なので重宝します）を聴かせてあげたいのは、自身も一人の親としても思うところ。様々な地域で親子向けイベントを開催したが、三鷹市は音楽を求める親御さんが多い印象があるため、ぜひ市からも施設・設備のご協力をいただけたらありがたい。」という意見が出た。ここでは、おむすびハウス三鷹と同じような空き家を、市民主体でなく、自治体が主導して活用している例として、狛江市の“ふらっとなんぶ”を紹介する。こちらの施設は、空き家になっていた戸建て住宅を狛江市が改修し、日常的に多世代・多機能型交流拠点として活用されており、社会福祉協議会等のイベントも行われている（付録の章に筆者も出演したイベントのチラシを掲載する）。三鷹市の行っている『空き家活用マッチング支援事業』は、2025年4月時点では、空き家活用の希望者は複数いるものの、所有者からの申し込みがなくマッチングに至っていないとの状況であったが、狛江市のように、自治体がより積極的に関与・支援して活用する方法も充分に考えられるのではないかとと思われる。また、コミュニティ・センター等の既存の公共施設は、筆者の2023年の論文でも指摘したように、一部の市民によってのみ利用・活用されている施設が大半であり、広く全市民に開かれ、（市や地域に有益な活動であったとしても）誰もが利用しやすい状況であるとは言い難い。そこで三鷹市には、新しい施設の発掘、そしておむすびハウス三鷹のように独自に活動する市民への支援強化を進めると同時に、既存の施設を真の意味の多世代交流拠点とすべく、インターネット予約の導入等に留まらず、市民の有効利用に際しての障壁をなくすため、既存の利用規定で現状にそぐわなくなった部分の改定等を検討していただきたいと考える。

9 今後の課題と計画

今回の2回の試み（短期）は、音楽アウトリーチ（来場者参加型コンサート&交流会）を通じて、地域のつながりの希薄化を解決する第一歩とするところを目指し、実際に一定の効果が見込まれることが検証された。今後、長期的には、音楽アウトリーチを定期的に行うことで、高齢者・障がい者の方の健康維持・促進、ケアラー・子育て中の方のストレス軽減、近隣住民同士のゆるやかなつながり創り、見守り関係の構築など（精神的・物理的孤立を防ぐ、いざという時に助け合える関係作り）を目指したい。

今後の定期開催に向けては、人材・場所・予算の確保が課題となると考えられるため、ボランティア市民・協力者の募集、行政（三鷹市）との適切な連携、協働事業者への働きかけ・打診、助成金の申請・カンパ制の導入など、柔軟性を持った事業展開を行っていきたいと考えている。

0歳からの

クリスマスコンサート & 交流会

2025. 12/24(水) 10:30~12:00

in おむすびハウス三鷹(三鷹市下連雀1-10-20)

プログラム

- ♪コンサート♪
 - ♪アンダーソン: そりすべり
 - ♪クリスマスメドレー
 - ♪くるみ割り人形の音楽と一緒に
体を動かしてみよう
- ♪交流会♪
 - ♪簡単なお菓子・飲み物つき
 - ♪演奏者・スタッフも交えて情報交換

講師 & 交流会コーディネーター
ミュージック・バレット

『小さいお子さんから大人まで。彩り豊かな音楽を』
桐朋学園大学卒のうた、ピアノ、ヴァイオリンによる
ママ演奏家ユニット。本格クラシックを始め、童謡や
ミュージカルなどジャンルを超えたコンサートが好評で、
幼稚園や市・区が主催する催しに多数出演している。
全身で音楽を感じ、想像し、表現する音楽体験
をお届けします。

定員: 15組程度(0歳~小学生までのお子様と保護者の方)
お申込み: 右記のQRコードより
お問合せ: mitaka.machizukuri.music@gmail.com (実施責任者: 加藤)
※この企画は、三鷹ネットワーク大学、2025年度「民学産公」協働研究事業の一環として実施しており、
参加者の皆様には当日・事後のアンケートのご協力をお願いいたします。



第1回イベントチラシ

二胡とピアノの調べ & 交流会

2026.1.25(日)
14:00~15:30(13:30開場)

in おむすびハウス三鷹(三鷹市下連雀1-10-20)

入場無料
※当日先着順
20名程度

New Year Concert

♪劉天華: 空山鳥語
♪エルガー: 愛の挨拶
♪濱島祐貴: 子守歌
♪楽器体験コーナー ほか

講師 & 交流会コーディネーター

三鷹市出身で二胡奏者、作曲家として
幅広い活動を展開する濱島祐貴氏(桐
朋学園大学卒)と、現在三鷹駅北口に
てKanonピアノ教室を主宰するピアニ
スト、山形花音氏(フェリス学院大学
卒)のデュオでお届けします。

定員: 20名程度、当日先着順

※この企画は、三鷹ネットワーク大学、2025年度「民学産公」協働研究事業の一環として
実施しており、企画に最初から最後までご参加いただける方、終了後のアンケート(20問
程度)にご協力いただける方に、ご参加いただければ幸いです
お問合せ: mitaka.machizukuri.music@gmail.com (実施責任者: 加藤)



第2回イベントチラシ

